



<発表資料>

- 社史・アーカイブ総合研究所 - 企画に必要な8つの条件 その1

社史や記念誌の制作が決まった後は、どのような企画にするのかを検討することになります。基本的な検討項目は下の囲みに示した5W3Hで考えます。

1.では、まず発刊時期を決めます。そこから逆算して、いつまでに原稿を完成させないと発刊に間に合わないのか、そのためには、いつまでに資料の収集や整理をしなくてはいけないのかを考えます。

2.は、膨大な資料の保管場所や作業を行うための場所を決めることです。担当者の日常業務の机とは別に、最低でも机2つ、書棚1つ、専用電話1台は揃えているのが望ましいです。

3.では、資料集め、原稿執筆、編集などの各業務を誰が担当するのかを決めます。スタッフは社内だけでなく、社外からも調達するのかもしれないことも考える必要があります。資料集めは社員にしかできませんが、集まった資料を当社のような外部に託して、資料の整理やデータベース化してもらうことは可能です。

4.は、何をテーマにするのか、社史なのか記念誌なのか、体裁はどういうものにするのかを決めることです。体裁に関して決めるべき要件に、以下のようなものがあります。判型、頁数、写真点数、用紙、表紙や製本の仕様などです。

今回は5.以下を詳しく見てみます。

企画に必要な5W3H

1. When/いつ始め、いつ発刊するかのか
2. Where/どこで企画、編集、印刷をするのか
3. Who/各作業は誰が担当するか
4. What/テーマ、書籍の種類
5. Why/発行する理由
6. How/いかにして作るか
7. How many/原稿枚数や本の冊数
8. How much/予算はどれぐらいか



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目8-8 アクロス新川ビル 4F
TEL 03-6824-9113 FAX 03-6824-9110 ✉ info@shashi-archive.jp 担当：鈴木

<https://shashi-archive.jp/>

No.00038

2022年9月1日

(本資料使用上の留意点について)

本資料は当社が独自に収集したデータを基に作成しております。その正確性と最新性の確保に努めていますが、完全性を保証するものではありません。調査、分析、統計処理等によってその都度データを更新する場合があります。当資料の内容に関するいかなる間違い、不掲載についても一切の責任を負うものではありません。資料に示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。利用に際しては御自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。その他、当資料の取り扱い事項は当研究所の会員規約に準じます。

(著作権について)

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。
当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

- 組織情報 -



ビジネスのDNAを次世代に伝える

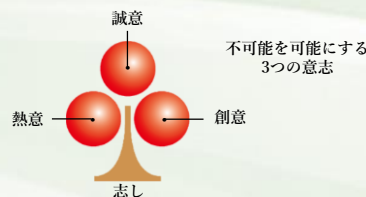
出版文化社

【代表者】
代表取締役社長 浅田厚志
【創立】
1984年2月6日
【資本金】
99,234,300円

【東京本部】
東京都中央区新川1-8-8
アクロス新川ビル4F
TEL：03-6823-6820（代）
【大阪本部】
大阪市中央区久太郎町3丁目4-30
船場グランドビル8F
TEL：06-4704-4700（代）
【名古屋支社】
名古屋市熱田区五本松町7-30
熱田メディアウイング3F
TEL：052-990-9090（代）

Learning Organization

豊富な実績を基に多様な社史・記念誌づくりを提案します。
編集は自社内で一貫して行っています。
専門家＝アーキビストが常駐しています。
品質管理、情報セキュリティのISOを取得している日本唯一の出版社です



-社史とアーカイブに関する日本初、唯一のシンクタンク-



社史・アーカイブ総合研究所

CORPORATE HISTORIES AND ARCHIVES RESEARCH INSTITUTE

社史・アーカイブ総合研究所は『社史・記念誌の有効活用と、ビジネス・アーカイブの普及への貢献』という大きな目標を掲げ、2019年に設立した専門研究機関です。社史とビジネス・アーカイブに関する情報の収集、コンテンツの企画と発信を行っています。

運営組織 社史・アーカイブ総合研究所
英文 Corporate Histories and Archives Research Institute
代表者 小谷允志
設立 2019年10月1日
研究員数 10名（東京6名・大阪4名）